

News Release



2026年1月9日

2026年 社長年頭挨拶要旨(社員向け)

社長 漆畠 憲一

新年を迎えるにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。昨年も環境変化が厳しい1年でしたが、皆さんのご尽力に心より感謝申し上げます。2026年は、中期事業計画「30V・28M」のスタートの年として積極的にチャレンジし、新たな成長の基盤を築く重要な一年となります。新しい年を迎えるにあたり、昨年の振り返りと、本年の抱負についてお話をさせていただきます。

はじめに、昨年の国際情勢を振り返りますと、地政学リスクは引き続き高く、国際社会の安全保障や経済活動に大きな影響を及ぼし、私たちの事業にも影響を与えています。米国と中国の貿易摩擦を背景に、半導体供給問題が再燃しました。また、日中関係の悪化が経済に与える影響も懸念されます。世界経済の動向としては、米国関税政策が国際貿易に大きな影響を与えており、世界的なインフレも続き、企業活動におけるコスト管理の重要性が増しています。

自然災害については、昨年7月に発生したカムチャツカ沖地震では津波警報が発令され、当社の一部拠点においては避難を行いました。9月の四日市における豪雨災害では、地域社会に甚大な被害をもたらしました。こうした自然災害への備えと迅速な対応は、今後も重要な課題です。

また、世界の自動車市場に目を向けると、EV市場は中長期的に成長基調が続くと予測されますが、直近では昨年と同様に鈍化傾向にあります。中国市場では日系OEMのシェアが減少する傾向が続いており、中国EVメーカーによる日本の軽自動車市場への参入など、競争環境は一層厳しさを増しています。米国関税の影響については、関係部門の適切な取り組みなどもあり、当初想定よりもその影響は軽減されていますが、今後も多様な事態を想定した対策検討が必要となります。

25Mのスタート時より、モビリティ社会は「100年に一度」とも言われる大変革期にあることは繰り返しありました。CASE技術の融合により移動のあり方が根本から変わろうとしている中、当社がこれまでに蓄積してきた技術を元に、さらに深く、社会及び顧客の期待を超えた可能性の実現に向け、グループグローバル一丸となり挑戦を重ねていきたいと思います。

当面の重要課題と取組みは以下3点です。

(1) 業務基盤の確立

2025年度は転倒による災害が多く発生いたしました。ルールの未遵守やリスクアセスメントの不備により防止

可能であったと考えられる災害も含まれています。全社を挙げて安全意識の徹底と環境整備を進めてください。転倒防止と健康維持を目的として、1月より全従業員を対象に定時内の体幹を鍛える SWS 体操を開始しますので、毎日継続していきましょう。

また、情報セキュリティ対策の強化も急務です。日本国内においても、サイバー攻撃により社会全体に影響を与え、被害が長期化する事例が増えています。外部からの攻撃に対する対策は当然のことながら、私たちが発信するメールの誤送信もまた、情報漏洩のリスクを高める要因となり、重大な企業の信用低下に繋がる恐れがあります。職場でのガバナンスを徹底し、問題発生時には「Bad News First」で速やかに情報共有をお願いします。

(2) 企業体质強化と既存事業の着実な収益拡大

ハーネスのものづくり力強化に向けて、ベトナム、フィリピン、メキシコの各拠点で地域連携を深める One 活動を行っています。引き続き、好事例の横展開や DX/AI の活用を拡大し、次世代ものづくりの実現を目指していきます。昨年より進んでいるグローバルでの新車種大型立上げについては、現時点では順調に進捗していますが、安定稼働に向か、組織間の連携を強化し、変化点の早期把握と迅速な対応をお願いいたします。

中国市場においては、中国 OEM の動向を綿密に情報収集・分析し、適切な戦略を策定します。また、米国関税の影響を踏まえ、生産レイアウトの見極めを進め、地産地消を含めたリスク分散と効率化を図っていきます。

(3) OEM とのパートナー関係深化と将来製品の具現化

お客様のニーズや市場の変化に迅速に対応し、パートナーシップを深化させることが不可欠です。ワイヤーハーネスや関連製品を含む、これまでに蓄積してきた技術を元に、さらに深く社会及び顧客のニーズを越えて追求し進展させていくことが必要です。将来の製品開発においても、顧客と共に創し、価値あるソリューションを具現化していきます。

最後に、改めて当社グループのパーソンを共有しておきたいと思います。私たちは「ハーネス技術を深化させ、モビリティ社会のなくてはならないパートナーであり続ける」という使命のもとに事業を展開しています。単なる部品サプライヤーではなく、お客様の価値創造に貢献する真のパートナーとして、技術革新と品質向上に努めていく必要があります。全従業員が一丸となり、変化を恐れず挑戦し続ける姿勢を大切にしていきたいと思います。

理念を実現するためには、一人ひとりが最大限に能力を発揮出来るようにしていくことが必要です。従業員の皆さんのが健康であり、ハラスメントのない、コミュニケーションが円滑に行われる活き活きとした職場にする必要があります。従業員の皆さんから「住友電装グループで働くことができて良かった」と思ってもらえる活気ある職場環境をつくり、周囲からは「良い会社にお勤めですね」と言われるような会社にしていきたいと思います。

最後になりますが、本年が皆さんとご家族にとって実り多く健康で幸せな一年となりますよう心から祈念します。
ご安全に。

以上